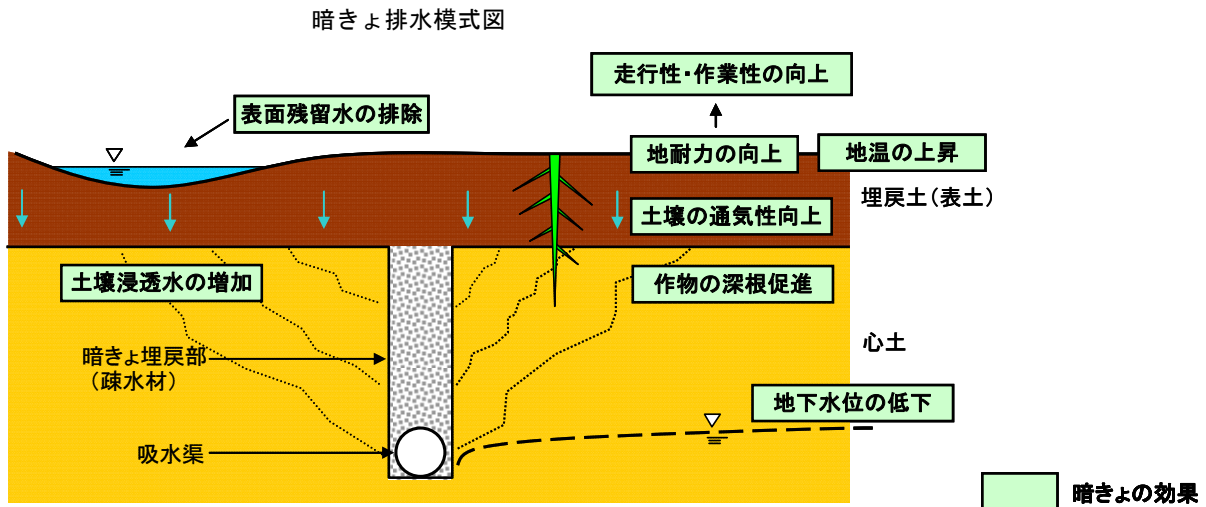


暗きょ排水

1. 暗きょ排水とは？

地中（暗（あん））に、土壤の水をしみ出せる小穴のあいた管（きょ（渠）：水を通す溝）や、管への水の流入を容易にする透水材料（疎水材）を設置することにより、地下に連続した通水空間を設けて余分な水を排水路に流す方法です。



2. 暗きょ排水の目的は？

暗きょ排水には次の目的があります。

- ①地表残留水の排除や地下水位の低下を図り、土壤の通気性など作物生育環境を改善します。
- ②土壤の浸透性の向上により、春期の融雪を促進し地温の向上を図ります。
- ③作物の深根を促し、生育を旺盛にします。
- ④降雨後の草地の地耐力を確保し、営農機械の走行性や作業性を良好にし、適期作業を可能にします。

3. 暗きょ排水の構造は？

- ①暗きょ排水の深さ（設計最小掘削深）は？
草地の常時地下水位（降雨後7日以降）などを考慮して基本的に掘削深は70cmとしています。
- ②暗きょ排水の断面は？
標準土質では「スリム型バケット」による溝掘削（溝幅20cm）が主流です。
- ③暗きょ排水管や疎水材の材質は？
排水効果・施工性・経済性などを総合的に評価して決定します。
宗谷の草地事業では、管は合成樹脂管（口径60mm～）が基本です。疎水材は、水産資源の有効利用ともなるホタテ貝殻を活用しています。その他には木材チップ等を利用しています。
- ④暗きょの配線間隔
暗きょ管の配線間隔は、8～14mの範囲です。

暗きょ排水溝掘削状況



暗きょ排水疎水材投入状況

